

やすらぎ

第23号

平成25年1月1日発行

岐阜市民病院 代表電話 058-251-1101 ホームページ <http://gmhosp.jp/>



理念

心にひびく医療の実践

- ### 基本方針
- 患者さんの権利を尊重し、心温まる医療を行います。
 - 安全で信頼されるチーム医療を行います。
 - 地域の医療機関と連携し、患者さん中心の継続した医療を行います。
 - 地域の中核病院として、最新かつ高度な医療を提供できるよう努めます。
 - 職員が生き生きと働くことができる環境づくりに努めます。



新年、明けましておめでとうござい
ます。昨年四月には、国において診療
報酬・介護報酬の同時改定が行われ、
また消費税増税の道筋も示されまし
た。これらは、2025年（団塊の世
代が全員後期高齢者になる年）の社会
保障の在り方に向けた方向性が示され
た、とも言われています。一方、年末
には衆議院選挙も行われましたが、ま
だ日本の政治はやや不安定な状態が続
くと思われれます。

しかし、私たち医療の世界に働く人
間は、どのような社会環境であって
も、患者さん第一の方針に変わりはない
と、普遍的な価値観で動いていこうと
考えています。例えば、災害対策につ
いても、災害拠点病院としての整備を
進めながら、いざという時に地域の皆
さんの役に立てる病院を目指して準備
しております。また、救急部分におい
ては、岐阜市医師会、岐阜市歯科医師
会のご協力の下、岐阜市の市政の一環
としての岐阜市休日急病センター・岐
阜市休日急病歯科センターが新たに診
療を開始しております。

また、地域医療支援病院として、地
域の皆様にも病気の知識を持っていた

だき、疾病の予防・早期発見に役立
ていただく目的で、毎月市民病院公開
講座を開催させていただいております。

さて、市民病院の改築整備の状況で
すが、去る十一月に新しい玄関ホール
が完成し、十一月五日より新しい外来
での診療を開始しました。

新しい外来は、西診療棟一階から四
階などで診療を行っています。一階に
内科（循環器・神経・腎臓・消化器・
肝臓・血液・糖尿病・内分泌・総合・
膠原病）、脳神経外科、整形外科、形
成外科の各科外来と採血・採尿を行う
中央採血室を新設しました。二階に小
児科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻
いんこう科・頭頸部外科、精神科の各
科外来と生理検査室、三階に外科、呼
吸器・腫瘍内科、胸部・心臓血管外
科、歯科・歯科口腔外科、緩和医療科
と外来化学療法センター、消化器病セ
ンターを設置しました。四階は女性フ
ロアとなっており、産婦人科、乳腺外
科、女性外来があります。

平成二十年から始まった改築整備
も、今後は旧玄関及び外来棟の解体
後、玄関スロープ・立体駐車場を含め
た外構工事をもって完了します。騒音
や振動、工事車両の通行など、皆様
には大変ご迷惑をおかけいたしますが、
引き続き、ご理解ご協力をお願い申
上げます。

新しい外来が スタートしました

医 事 課

当院では昨年十一月に新しい玄関ホールが完成し、十一月五日から西診療棟等で外来診療を開始しました。

今回の外来移転に伴い、新たな機器やシステムを導入し外来診療の流れを変更しました。

一つは、今回より再診の方は予約の有無に関係なく「再来受付機」で受付するため、利便性向上を目的として、従来から設置していましたが一階玄関ホール以外に、一階中央採血室前に一台、二・三・四階に各一台設置しました。さらに受付時には、当日の診療内容（受診科や検査等）が確認できる受診案内カードを皆さんにお渡ししています。

再来受付機の利用方法

- ①診察券を通してください。
 - ②受診案内カード等が出ます。
 - ③各外来受付に受診案内カードをお出してください。
- ※6ヶ月以上受診していない診療科を受診される場合は、初診受付へお越しください。



また、プライバシーに配慮し、診察時に患者さんのお名前ではなく、番号でお呼びするようにし、外来待合に番号表示用モニターを設置しました。診察室にお呼びする際は、モニターへの番号表示及びチャイム音でご案内しています。

外来待合の番号表示

- ・診察の順番になると画面に番号が表示されます。



すべての診察及び検査が終了後、会計となります。会計時も、お名前ではなく会計番号でお呼びするようにしました。計算が終わりましたら、番号表示及び音声にてお知らせします。

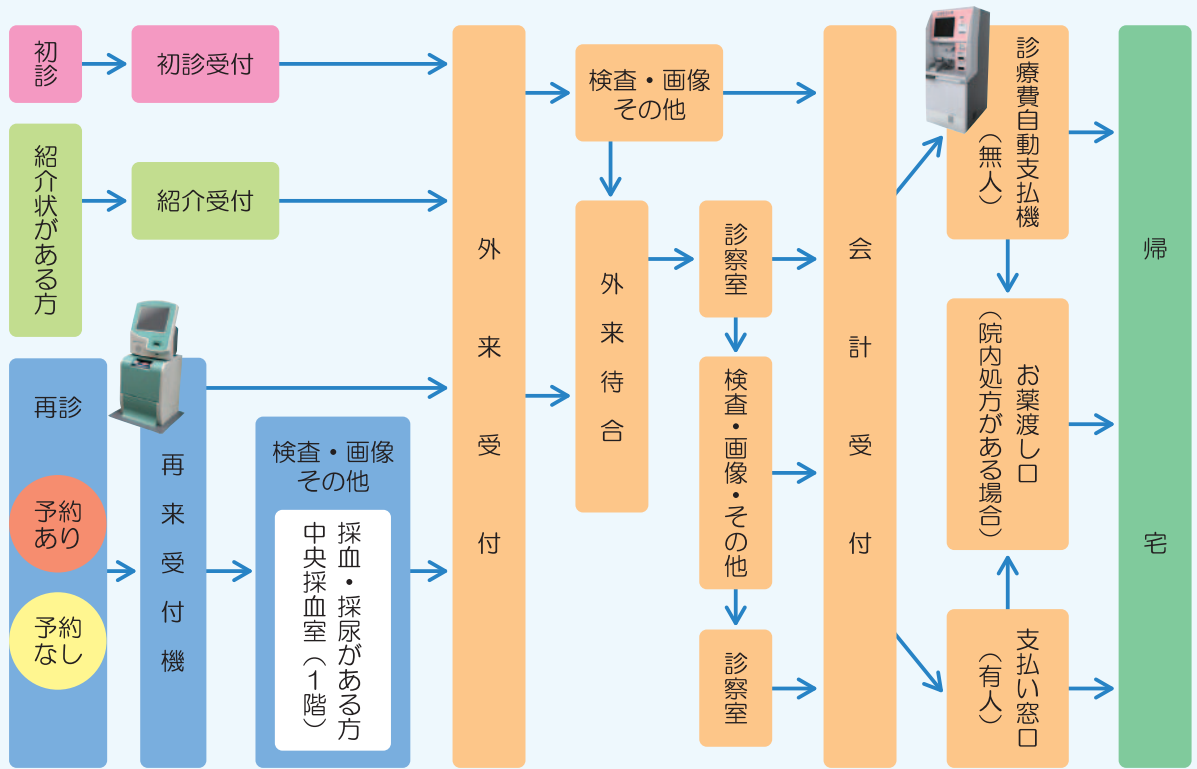
会計番号表示

- ・計算が終了すると画面に番号が表示されます。



お支払いについては、従来は窓口のみで対応していたため、混雑時には待ち時間が長くなりご迷惑をおかけしていましたが、この度「診療費自動支払機」を三台設置し待ち時間の短縮を図っています。

外来診療の流れ（受付から帰宅まで）



休日急病センターと休日急病歯科センターが 市民病院内で診療を開始しました

昭和五十年



の開設以来、岐阜市青柳町で親しまれてきました岐阜市休日急病診療所と岐阜市休日急病歯科診療所は、市民病院内において、引き続き岐阜市医師会と岐阜市歯科医師会の協力を得て「岐阜市休日急病センター」と「岐阜市休日急病歯科センター」として昨年十月二十一日から新たにスタートしました。

今までの診療内容を引き継ぎながら、時間延長するなど患者さんの利便性が大きく向上したことがセンターの特徴です。必要と判断されれば、入院治療を主体とするほかの輪番病院と連携を取ることができるようになっています。

また、小児科については、すでに、本市および周辺市郡の医師会の協力の下、当院内「小児夜間急病センター」において平日と土曜日の午後十一時まで十五歳以下の子どもたちを診ており、今回の開設で平日・休日の切れ目

ない診療体制が整いました。

「医療・健康立市」を掲げ、市民のみなさん誰もが健康で生きがいを持ちながら、安心安全で豊かな生活を営むことができるまちを目指す本市とし、このセンターが、今までどおり多くのみなさんに親しまれることを望んでいます。



▶ 岐阜市休日急病センター

診療科目：内科および小児科
診療日：日曜日、休日、年末年始（12月31日～翌年1月3日）
診療時間：午前9時～午後1時、午後2時～6時、午後7時～11時
（受付は診療開始30分前から診療終了30分前まで）
電話番号：058-253-7277（診療日の受付時間中のみ）

▶ 岐阜市休日急病歯科センター

診療科目：歯科
診療日：日曜日、休日、年末年始（12月31日～翌年1月3日）
診療時間：午前9時～午後1時、午後2時～6時
（受付は診療開始30分前から診療終了30分前まで）
電話番号：058-253-7337（診療日の受付時間中のみ）

DMAT指定病院として 岐阜県より指定されました

今年度、当院は、災害医療派遣チームを整備いたしました。

災害医療派遣チームとは、医師、看護師、業務調整員（事務員、薬剤師、放射線技師等）から一チーム四名で構成し、地域の救急医療体制では対応できない大規模災害や集団災害の現場に急行できる医療チームのことを言います。Disaster Medical Assistance Teamの頭文字を取って「DMAT（ディーマット）」と呼ばれています。

各病院がDMATを整備するには、厚生労働省が認めた専門的な研修及び訓練を四日間受講する必要があります。受講できるチームは各都道府県別に年間二枠しかなく、昨年度まで当院が受講するに至りませんでした。しかし、昨年六月に念願であったDMAT研修を職員五名が受講し、DMATを整備することができました。

DMATは、阪神淡路大震災の時に被災地内で十分な医療行為を受けられずに多数の方が亡くなられた「防ぎ得た災害死」を救命するため、主に災害が発生してから四十八時間が経過するまでの「超急性期」と言われる期間に

医療支援活動を行うことが求められています。

具体的には、短時間で現場に乗り込める機動性を有し、活動期間中の医療資機材や食料の確保及び燃料の調達等は自らのチームで行います。医療支援活動を行った後は、被災地に「ミを一つも残さずに自院へ帰ってくる」「自己完結型」での活動を行っていくこととなります。

また、昨年八月には、岐阜県から岐阜DMAT指定病院の指定を受け、災害派遣に関する協定を締結しました。これにより、地震、台風等の自然災害や、列車事故等の大規模事故発生時には、岐阜県との協定に基づき、被災地へ迅速にDMATが出勤して、消防機関等と連携しながら災害医療活動を展開していくなど、岐阜県内のみならず日本の災害医療に寄与していきます。



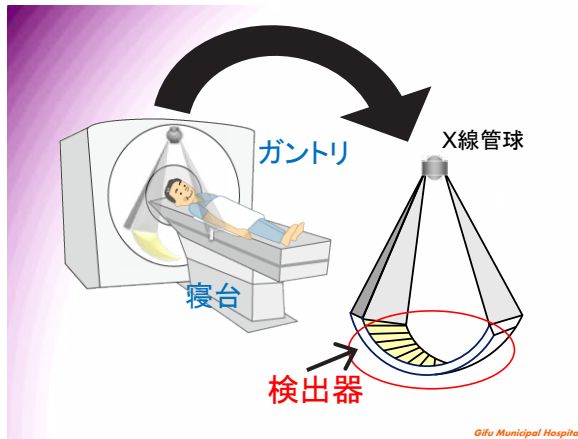
320列CT装置の紹介

中央放射線部



当院では、平成二十三年十二月から最新型320列CT装置が導入され、本格稼働しています。通過エックス線を解析して身体の輪切りの状態の断面像を見る装置がCT（コンピュータ断層撮影・computed tomography）です。
患者さんがCT検査で横になる寝台の周囲をとりまぐドーナツ型装置内に

身体を挟み込むエックス線発生装置（以下管球）とエックス線検出器が向かい合っています。この一对の構造が身体の周囲を回転する間に管球から放射されるエックス線が身体を通過し、反対側の検出器で捕らえられます。



CTの開発当時は一個だった検出器の数が320個ついているので320列CTといえます。

検出器の数が世界一多く、猛烈な速度（0.5秒）で連続回転できるので、あっという間に全身の撮影が終了してしまいます。

速く細かく撮影できるので、立体画像（三次元画像）もすべに確認できます。

320個の検出器のおかげで、一回

転で十六センチの長さが撮影できます。この長さにおさまる脳と心臓は、一回転で撮影が終了します。特に心臓CTについては、従来のCTでは、評価が難しかった不整脈の患者さんでも、拍動の自動解析により最適なタイミングで高速に撮影でき驚くほど綺麗な画像を得ることができるのです。



膝関節の三次元画像



心臓の三次元画像

動きのある子供さん、息止のできない患者さんも従来のCTよりも、ぶれない画像が得られます。速い広範囲の撮影は、画像の質の向上に加えて放射線被曝の低減にもつながり患者さんに優しいCTとも言えるのです。

320列CT装置の導入は岐阜市内では初めてとなります。

編集後記

読者のみなさん「やすらぎ」第23号が完成しました。本号では新年のご挨拶、新しい外来の流れについて、休日急病センターと休日急病歯科センターについて、DMATの指定について、320列CT装置の紹介を掲載いたしました。その他に、現在、岐阜商工会議所の「月報」に当院の医師が健康情報を毎月提供しております。機会がありましたら、一度ご覧ください。

編集部一同



外来診療のご案内

- 診療科目・・・内科、糖尿病・内分泌内科、精神科、神経内科、呼吸器・腫瘍内科、消化器内科、血液内科、循環器内科、腎臓内科、小児科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、歯科、歯科口腔外科

- 休診日
土・日・休日と12月29日～1月3日
*詳細はホームページでも紹介しています。

